

授業科目

生化学実習

担当教員名 浅井 孝夫、三嶋 行雄	対象学年	1	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			◎

授業の概要

生体を構成している物質を用いた実験を行います。

授業の目的

生体を構成している物質の基本構造や性質、機能などを理解し、それぞれの項目の分析技術を習得する。

学習目標

1. 実験に使用する器具器材の正しい使用方法を実施できる。
2. 緩衝液の調整法や性質について説明できる。
3. 生体物質の測定方法や性質を簡単に説明できる。
4. 酵素反応に必要な条件について説明できる。
5. 核酸の抽出法や増幅法について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1,2	ピペット操作	講義・実習	浅井 孝夫
3,4	緩衝液の調整	講義・実習	浅井 孝夫
5,6	糖質の定性試験	講義・実習	浅井 孝夫
7,8	糖質代謝分子モデルの構築	講義・実習	浅井 孝夫
9,10	タンパク質の定性試験	講義・実習	浅井 孝夫
11,12	タンパク質の性質	講義・実習	浅井 孝夫
13,14	脂肪酸の性質	講義・実習	浅井 孝夫
15,16	唾液アミラーゼ活性測定	講義・実習	浅井 孝夫
17,18	口腔細胞からのDNA抽出	講義・実習	浅井 孝夫
19-22	核酸増幅、制限酵素処理、電気泳動	講義・実習	浅井 孝夫
23,24	DNA分子モデルの構築	講義・実習	浅井 孝夫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	コンパクト生化学改訂第3版	大久保岩男	南江堂	2011年	2,000円+税	
その他の資料	配布資料					

評価方法

レポート（20%）、筆記試験（80%）

履修上の留意点

オリジナルの「実習ノート」を配布しますので、熟読し理解したうえで実習に臨んでください。

オフィスアワー・連絡先

水曜日 2 時限目
asai@nuhw.ac.jp